

## 令和6年度事業報告

当法人が令和6年度に実施した事業について、次のとおり報告する。

### 第 事業の状況

#### 1 全般的な事業の状況

種苗の生産・供給事業のうち、エゾアワビについては、令和4年度に実施した取水設備の改修以降生育が順調で、外部からの購入をせず自家生産した種苗のみを供給した。ただし、アワビ種苗供給数は、漁協・漁業者からの要望が減ったことにより、前年に比較し約4.8万個減少した。

クルマエビは、7月下旬から8月上旬に天然親エビを入手して秋田県水産振興センター（以下「センター」）施設において種苗生産を開始し、順調な生育を経て、全長25mmの稚エビを県内向けに約233万尾、県外向けに約11万尾供給したほか、余剰分は男鹿半島周辺海域に協会として自主放流した。

クロソイは、4月中、下旬に天然親魚を入手し、4月29日から状態の良好な産仔魚を得てセンター施設において種苗生産を開始し、計画どおりの尾数を育成した。生産した稚魚は県内における放流要望に対応して販売したほか、余剰分は男鹿半島周辺海域に協会として自主放流した。

ヒラメについては、前年夏季の高水温によりセンターが養成している採卵用親魚の多くが斃死したため、養成親魚から採卵した受精卵に加え、公益社団法人富山県農林水産公社から供給を受けた受精卵を用いて4月3日から種苗生産を開始した。種苗は、一部をセンター施設に残し、多くは6月4、5日に岩館ヒラメ育成施設に移送して中間育成を行った。生産した稚魚の配布、放流は7月10日から実施した。

マダイについては、センターが養成した親魚から受精卵を採卵し、5月27日から種苗生産を開始した。7月17日からは、一部をセンター施設に残して、椿漁港に設置した網生け簀に移送し、漁協職員や漁業者の協力を得て中間育成を行った後、同様に協力を得て9月2日から放流した。漁港工事の影響で中断していた金浦漁港での網生け簀による中間育成については、陸揚げしていた施設の老朽化が著しかったため、工事終了後も中断している。また、戸賀湾の網生け簀による中間育成も経費節減のため実施せず、全長33mmサイズで約12万尾を放流した。

栽培漁業基本計画の放流目標数であるヒラメ200千尾（全長80mm）、マダイ300千尾（全長85mm）に対し、ヒラメは目標を上回る221千尾（平均全長83.6mm以上）を放流することができたが、マダイについては尾数は305千尾と目標を上回ったものの、そのうちの123千尾は平均全長33.0mm以下の中間育成前の小型種苗であった。

種苗の需要減少が続く中、（一社）日本釣用品工業会が全国展開する「つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業専門機関と連携した放流事業」を実施し、同会から指定を受けた日本釣振興会秋田県支部会員と一緒に秋田港でマダイ稚魚を放流したほか、秋田県つり連合会が北浦漁港で行っている「マダイ稚魚放流式」に合流しマダイとクロソイ稚魚を、例年、男鹿マリンクラブが男鹿マリーナで行っている「海の日記念イベント」ではヒラメ稚魚の放流を実施した。

## 2 各事業の状況

### (1) 種苗生産・供給事業

#### エゾアワビ

生産施設 (公財) 秋田県栽培漁業協会アワビ種苗生産施設(象潟)

供給時期 4月4日～11月27日

供給内訳

県内	平均殻長	20mm	287,870個
		30mm	36,000個
		40mm	1,000個
		50mm	9,421個
		60mm	1,765個
合計	20～60mm		336,056個

#### クルマエビ

生産施設 秋田県水産振興センター施設

供給時期 9月13日～9月30日

供給内訳

県内	平均全長	25～42mm	2,329,000尾
県外		25～33mm	110,000尾
合計		25～42mm	2,439,000尾

#### ヒラメ(放流用)

育成施設 秋田県水産振興センター施設及び(公財)秋田県栽培漁業協会ヒラメ中間育成施設(岩館)

供給時期 6月5日～7月27日

供給内訳

県内	平均全長	50mm	20,000尾(中間育成・放流用)
		80mm	24,500尾(一般事業)
		80mm	20,000尾(LOVE BLUE事業)
		80mm	40,000尾(水産多面的事業)
		90mm	32,600尾(全国豊海協事業)
		90～120mm	8,100尾(全国豊海協事業)
合計	50～120mm		145,200尾

(公社)全国豊かな海づくり推進協会による広域種資源造成型栽培漁業推進事業(資源造成事業:日本海北部海域ヒラメ)

#### マダイ(放流用)

育成施設 秋田県水産振興センター施設

供給時期	9月2日～9日		
供給種苗			
県内	平均全長	85mm	20,000尾 (LOVE BLUE事業)
		85mm	14,500尾 (秋田つり連他)
合計		80～85mm	34,500尾

#### クロソイ

生産施設 秋田県水産振興センター施設

供給時期 9月6日

供給種苗

県内 平均全長 80mm 16,500尾 (LOVE BLUE事業放流)

### (2) 栽培漁業総合推進事業

#### ヒラメ

種苗生産 (中間育成まで)

生産施設 秋田県水産振興センター施設

生産期間 4月3日～6月6日

生産種苗 平均全長19.7～30.6mm

生産尾数 368,000尾

中間育成 (放流まで)

育成施設 秋田県水産振興センター施設及び (公財) 秋田県栽培漁業協会ヒラメ

育成施設 (岩館)

育成期間 6月4日～9月10日

取り上げ尾数 220,700尾

放流日 7月10日～9月10日

放流種苗 平均全長 83.6～120mm

放流尾数 75,500尾 (残り145,200尾は (1) の に掲載)

#### マダイ

種苗生産 (中間育成まで)

生産施設 秋田県水産振興センター施設

生産期間 5月27日～7月17日

生産種苗 平均全長 30.3～33.0mm

生産尾数 390,800尾

種苗生産 (中間育成をせずに放流)

生産期間 5月27日～7月16日

放流日 7月16日

生産種苗                    平均全長 31.2～33.0mm  
放流尾数                    122,800尾

中間育成（放流まで）

ア 育成施設 秋田県水産振興センター施設

育成期間                    7月16日～9月10日  
取り上げ尾数                182,100尾  
放流日                        9月1～12日  
放流種苗                    平均全長 75.6～105.4mm  
放流尾数                    147,600尾(残り 34,500尾は(1)の に掲載)

イ 育成施設 男鹿市船川港椿 椿漁港内 網生け簀

育成期間                    7月17日～9月3日  
放流日                        9月3日  
放流種苗                    平均全長 85.2mm  
放流尾数                    105,200尾

放流効果調査及び資料集計

ヒラメ・マダイの市場調査

期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

ヒラメ・マダイについて、県内産地市場において人工放流種苗の混入状況を調査

(3) 県水産振興センターの種苗飼育等業務の受託事業

秋田県水産振興センターで行っている、ヒラメ親魚、マダイ親魚、キジハタ親魚、の飼育及びトラフグ、アユ、キジハタの種苗生産と、シオミズツボウムシ等餌料生物の生産に係る作業の補助を受託した。

県が取り組んでいる蓄養殖推進の一環として、クルマエビの春採苗に向けた採卵用親エビの育成試験を受託した。

(4) 栽培漁業啓発普及事業

漁業の安全操業や豊漁祈願、児童らへの栽培漁業に関する啓発活動等を目的に、男鹿市船川港を会場として、9月10日に第32回放流式を開催し、関係者と男鹿市立船川第一小学校及び同北陽小学校児童によるヒラメ・マダイの稚魚放流等を実施した。

また、協会ホームページでは、協会概要や事業報告等を掲載したほか、新着情報として各種苗の生産状況や放流情報を写真入りで発信した。

## 第 処務の概要

### 1 役員に関する事項

#### (1) 評議員

令和7年3月31日現在

役 職	氏 名	就任年月日	所 属 等
評議員	遠藤 実	平成29. 6. 27	前秋田県内水面漁場管理委員会長
同	田村 正	令和 5. 6. 27	八峰町副町長
同	柴田 智生	令和 6. 6. 27	能代市農林水産部長
同	檜森 定勝	令和元. 6. 26	三種町副町長
同	湊 智志	令和 5. 6. 27	男鹿市産業建設部長
同	古畑 範行	令和 6. 6. 27	潟上市産業建設部長
同	吉田 忍	令和 6. 6. 27	秋田市産業振興部長
同	齋藤 喜紀	令和 4. 6. 29	由利本荘市農林水産部長
同	本田 雅之	平成30. 6. 27	にかほ市副市長

任期は4年 令和6年度事業決算承認にかかる定時評議員会終了時まで

#### (2) 理事・監事

令和7年3月31日現在

役 職	氏 名	就任年月日	所 属 等
理事長	大竹 敦	令和 2. 6. 29 (平成27. 6. 13)	元秋田県水産振興センター所長 (理事就任年月日)
理 事	石井 好勝	平成27. 6. 13	八峰町峰浜漁業協同組合理事
同	大高 光晴	令和元. 6. 26	能代市浅内漁業協同組合代表理事組合長
同	田中 保則	令和 5. 6. 27	三種町八竜漁業協同組合代表理事組合長
同	船木 律	平成27. 6. 13	秋田県漁業協同組合相談役
同	小松 斉	平成29. 6. 27	元全国広域漁船保険組合秋田県支所長
同	水谷 寿	令和 5. 6. 27	(公財)秋田県栽培漁業協会(事務局長兼務)
監 事	夏井 大助	令和 5. 6. 27	男鹿市農林水産課長
同	藤嶋 茂	平成27. 6. 13	全国漁業信用基金協会理事

任期は2年 令和6年度事業決算承認にかかる定時評議員会終了時まで

### 2 職員に関する事項

令和6年3月31日現在

職 名	氏 名	採用年月日	担 当 業 務 等
事務局長	水谷 寿	令和 5. 4. 1	事務関係全般・総括(専務理事兼務)
技術専門員	三浦 肇	令和 4. 4. 1(再)	魚介類種苗生産・中間育成・放流効果調査
主任技術員	杉本 修	平成 8. 4. 1	魚介類種苗生産・中間育成(象潟アワビ施設勤務)
技 術 員	佐藤 亮太	平成27. 4. 1	魚介類種苗生産・中間育成・放流効果調査
技 術 員	高橋 宥人	令和 4. 4. 1	魚介類種苗生産・中間育成(象潟アワビ施設勤務)

### 3 役員会に関する事項

( 1 ) 理事会

開催日	議決事項及び議事の結果	出席者数
R6.6.5	<p>議案第 1 号 令和 5 年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）及び財産目録の承認の件</p> <p>・原案どおり承認</p> <p>第 2 号 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件</p> <p>・原案どおり決議</p> <p>第 3 号 短期借入及びその限度額の承認の件</p> <p>・原案どおり決議</p>	<p>現在理事数 7名</p> <p>定足数 4名</p> <p>出席数 6名</p> <p>監事出席数 2名</p>
R7.3.13	<p>議案第 1 号 特定資産取崩の承認の件</p> <p>・原案どおり承認</p> <p>第 2 号 令和 6 年度収支補正予算（案）の承認の件</p> <p>・原案どおり承認</p> <p>第 3 号 マダイ、ヒラメ放流協力金（率）及び種苗単価の改定の検討に関する件</p> <p>・原案どおり決議</p> <p>第 4 号 令和 7 年度事業計画（案）、収支予算（案）の承認の件</p> <p>・原案どおり承認</p>	<p>現在理事数 7名</p> <p>定足数 4名</p> <p>出席数 7名</p> <p>監事出席数 2名</p>

( 2 ) 評議員会

開催日	議決事項及び議事の結果	出席者数
R6.6.27	<p>定時評議員会</p> <p>議案第 1 号 令和 5 年度事業報告、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）及び財産目録承認の件</p> <p>・原案どおり承認</p> <p>第 2 号 評議員の選任の件</p> <p>・原案どおり承認</p>	<p>現在評議員数 6名</p> <p>定足数 3名</p> <p>出席数 5名</p> <p>監事出席数 1名</p>

#### 4 契約に関する事項

契約締結日	契約の相手方	契約の概要
R6.4.1	秋田県水産振興センター所長	令和6年度水産振興センター種苗飼育等業務受託 契約期間 令和6年4月1日～7年3月31日 契約額 7,537,366円
R6.9.30	〃	同上業務 変更契約 変更後契約額 7,744,233円
R6.4.1	秋田県知事 (水産漁港課扱い)	蓄養殖推進体制構築事業業務委託 契約期間 令和6年4月1日～7年3月31日 契約額 2,000,000円